

令和4年度 北区立王子第二小学校 自己評価報告書

令和5年2月4日

校長 江口 千穂

1 自己評価の結果と分析

(1) 学校評価アンケート結果

令和4年度 学校評価集計 <重点目標に対しての取り組みと評価>						
児童: 児童数283(277)・回答数262 回答率95%						
保護者: 家庭数223(218) 回答数116 回答率53%						
目標	重点目標	具体的な取り組み	努力目標	評価項目	結果%	達成
確かな学力を育む	学習意欲	・きたコンを活用した個別最適な学び、協働的な学びを充実させている。 ・児童の実態を把握し、教材教具の開発や個に応じた個別指導を工夫した。	児童 90%	学校の授業に意欲的に取り組んでいる。	90	○
			保護者 80%	児童は意欲的に学習に取り組んでいる。	91	○
	基礎基本の定着 学習指導	・各学年及び教科の実態に応じて学力向上推進プランを策定し、基礎基本の定着を図っている。 ・算数科では、習熟度別指導を少人数で実施、毎週水曜に国語と算数を中心に「学力フォローアップ教室」を実施した。 ・eライブラリ・スタディサプリ・東京ベアリングドリル等を活用し、基礎基本の定着を図った。	児童 85%	国語・算数の学習がよくわかる。	89	○
			保護者 85%	読み書き計算などの学習の基礎基本をおさえた授業が展開されている。	95	○
	NIE活動	・週1回の「NIEタイム」では、児童の発達段階に応じて新聞読み比べ、新聞製作、スクラップ、新聞工作や文字探しなど多様な活動を取り入れている。子ども新聞を図書室に配備し、図書館指導員と連携しながら、記事の紹介をするなど児童が地域や世界に興味を持てるような取組を行った。	児童 85%	NIE活動に進んで取り組んでいる。	79	△
			保護者 80%	新聞製作や新聞を取り入れた学習に興味・関心をもって取り組んでいる。	71	△
よりよい人間関係づくり	あいさつ・礼儀	・登校児童による「あいさつ運動」を年2回実施した。 ・マスク着用でも気持ちのよいあいさつができるよう、あいさつに関する週目標に「目を見て」「心を込めて」等の文言を明確に設定した。	児童 90%	あいさつ・ていねいな言葉遣いをしている。	88	△
			保護者 90%	児童はきちんとあいさつをしている。	84	△
	基本的な生活習慣	・「よくわかる！王子第二小学校」を活用し、生活のきまりを児童にも分かるように掲示、指導した。 ・毎週的生活指導夕会で、児童の様子を学校全体で共通理解し指導した。	保護者 90%	基本的な生活習慣が定着するように指導を重ねている。	86	△
			児童 90%	たてわり班などで思いやりをもって活動している。	93	○
	異年齢集団活動 (たてわり班・登校班・クラブ・委員会)	・たてわり班遊び、登校班、全校遠足など多様な異年齢集団活動を行い、上級生から下級生への思いやりある行動を体験できるようにした。 ・運動会、学芸会のふり返りでは、学年のよさを称賛し、メッセージとして他学年と交換し合う活動を設けた。	保護者 90%	たてわり班活動などの異年齢活動を通し、他学年との結びつきが深まっている。	94	○
			児童 90%	道徳の時間に、自分ならどうするか考えている。	90	○
心の教育 道徳教育	・全教育活動を通じて道徳教育の充実を図るとともに、道徳の時間には事例等を通して自分ごととして考えることができるよう発問や授業展開等を工夫した。 ・道徳授業地区公開講座を実施し、各家庭で話し合いができるよう働きかけた。	保護者 90%	道徳・全教育活動において心の教育の充実にも努めている。	84	△	
		児童 90%	楽しく学校生活を送っている。	87	△	
すこやかな体づくり	充実した学校生活	・適正な仕事分担や集会活動等を実施し、児童に満足感・充実感を味わわせる工夫をした。 ・学級内の児童の様子を把握し、課題がある場合は担任だけでなく、養護教諭やスクールカウンセラーなど「チーム」として対応した。	保護者 90%	児童は楽しく学校生活を送っている。	96	○
			児童 90%	運動することや体育が好き。	87	△
	体力の向上	・校内研究としてコーディネーショントレーニングに取り組み、体育の授業改善を行い、児童の体力向上に努めた。 ・長なわ週間や短なわ週間、王二オリンピック等を実施し、児童の体力向上に努めた。 ・長期休業中に家庭でも運動に取り組めるよう動画の配信を行った。	保護者 90%	体育の授業や全校での短なわ・長なわの取り組みなど、体力の向上に努めている。	92	○
			児童 90%	困ったときに相談できる人がいる。	87	△
	個に応じた指導 特別支援教育	・支援を要する児童の指導について、校内委員会を開き、学校全体で支援する体制を構築した。 ・連携型個別支援計画を担任・巡回教員とで作成し、共通理解の上、支援に当たった。 ・スクールカウンセラー、心理士等と連携し、児童理解に基づき、相談体制や必要とされる支援を充実した。	保護者 80%	巡回指導教員やスクールカウンセラーなど、学校全体で児童の支援に当たる体制ができている。	73	△
			児童 90%	おいしく給食を食べている。	97	○
給食指導	・安全で安心な給食を提供できるように衛生面の指導等を行っている。 ・各地域の産物、食文化、季節感に関心をもてるようなメニューの工夫を行っている。	保護者 90%	安全で安心な給食を提供し季節感あふれる食育を工夫している。	98	○	
		児童 90%	地震や火災のとき、どう行動すればよいか知っている。	97	○	
安全指導 安全教育	・授業中・休み時間など実際の災害を想定した避難訓練を行い、いつ、どこで災害が発生しても自分で考え自分の身を守るための行動ができるよう意識づけを行った。 ・毎日の消毒作業、月一回の校内点検を全職員で行っている。 ・新しい生活様式に基づき、児童の健康管理や安全な給食の提供に細心の注意を払っている。	保護者 90%	避難訓練や防災訓練などを通して、安全教育が図られている。安全で安心な給食を提供し季節感あふれる食育を充実している。	97	○	
		児童 90%	学校だよりやHP、配信メールなどを活用し、情報発信を行っている。	92	○	
特色ある教育活動	情報の発信	・中央公園、中央図書館、飛鳥山博物館等の近隣施設を活用した学習を充実した。 ・SDGsの達成に向けた教育の充実をはかり、地域を愛し地域に貢献しようとする心情を育んでいる。 ・王子の伝統文化について講師を招聘し児童の興味関心を高めた。	児童 90%	地域に伝わる伝統文化を大切にしようとしている。	92	○
			保護者 80%	地域の自然、地域学習、伝統文化との関連を図る活動を積極的に行っている。	78	△

(2) 分析と考察

① 確かな学力を育む

主体的に学ぶ児童の割合は90%、保護者は91%であった。北区基礎・基本の定着度調査の結果では、全学年おおむね平均を上回っていることから、基礎基本の定着が図られていると捉えている。国語の「書くこと」や算数の「記述」等については区の平均を上回っているものの他と比べると低い数値であったことから、自分の言葉でまとめていく活動を年間通して計画的に実施していく。また、「きたコン」を活用した個別最適な学びを充実させる。

② よりよい人間関係づくり

教育活動全体を通し心の教育・道徳教育の充実を図るとともに、いじめや不登校に対する指導の徹底に努めた。学校評価では「道徳の時間に学んだことを生かしている」児童の割合が90%であることに對し、保護者の13%が「分からない」と回答している。道徳地区公開講座や授業公開等を通し、児童の学び姿を保護者に分かりやすく伝えていくことが課題である。

思いやりの項目については、肯定的な児童93%、保護者が94%だった。児童の割合はほぼ変わらないが、保護者の割合が10%増加した。たてわり班活動や授業での異学年交流など、少しずつ交流できる活動が増えたことでお互いが思いやりをもって接することができるようになったとの保護者からの意見もあった。感染症等の対策を行いつつ、他者との関わりを大切にできる交流活動を工夫していく。

③ すこやかな体づくり

体力の向上について、肯定的な保護者が92%と昨年度よりも8%増加した。今年度は学校教育目標の重点目標を「たくましい子」とし、体育科の授業研究や休み時間の体力向上の取組（王二オリンピック、長縄週間など）、長期休業中に取り組みめる動画配信など、児童が楽しく主体的に取り組みめる工夫を行ったことで高評価につながったと捉えている。今後も継続して日常的な取組を充実し、児童が運動に親しみ健康に気を付けて生活できるようにする。

個に応じた指導・特別支援教育については、18%の保護者がよく分からないと回答している。特別支援巡回指導等への理解を深め、個に応じた支援・指導ができるように今後もさらなる改善を図っていく。

④ 特色ある教育活動

伝統文化を大切にしようと思っていると回答した児童が92%と昨年度よりも8%増加した。学校を取り巻く地域・近隣施設の活用、外部講師を招いて地域に伝わる伝統文化を学ぶ機会の充実に努めた。引き続き教科横断的な学習を推進し、地域と共に、地域の魅力を知り地域を愛する児童を育てていく。

2 改善の方策

(1) 教育活動の充実と工夫

① 健康・安全を守る取組

- ・合同防災訓練の実施や安全教育プログラム・防災ノート等を活用した安全教育のより一層の充実
- ・年間を通した体力向上の取組や健康教育の実施、日常的な体育的活動の充実と体育科の授業改善

② 個に応じた教育の充実

- ・「きたコン」を活用し、個別最適な学び、主体的・協働的な学習のより一層の充実
- ・教科横断的な学習、児童が調べ・体験・まとめ・発表（表現）する活動の充実
- ・特別支援教育の推進、SC、SSW等と連携した組織的な対応と相談機能の充実
- ・支援が必要な児童一人一人に応じた教育支援体制の構築と特別支援教育の充実

(2) 成長・進化・発展し続ける学校づくり

① 教育課題への迅速な対応と長期的な見通し、継続的な取組の充実

- ・学校の取組、心の教育の充実、特色ある教育活動等の迅速な情報共有及び発信
- ・若手教員の育成、学校マネジメントへの参画、組織全体の力量形成、「チーム学校」としての実行力
- ・情報モラル教育、プログラミング教育、ITの日常化等、個別最適化された学びの実現

② 学校を取り巻く地域・環境・人材の活用、地域に誇りをもつ児童の育成

- ・地域の伝統文化を学ぶ機会の充実
- ・NIE活動の充実と学校図書館の連携を強化
- ・読書月間の実施、団体貸し出しの積極的な利活用を促進